

ENGINEER

MPDP

ダイアリー

高崎 充弘



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。



第60回 ネジザウルスの強い味方 ～ネジザウルスリキッド誕生！～

前号はポンプラザウルス、前々号はバイスザウルスの開発秘話をお話しましたが、カンブリア大爆発2017で生まれた製品5品種（9SKU）のなかで最も異彩を放っているのが今回ご紹介するネジザウルスリキッドです。これまでの十数種類のネジザウルスシリーズ（バズーカ・モグラを含む）は、トラスネジ、皿ネジ、六角穴付きネジなど対象とするネジの種類やサイズに応じて新たな機能・特性を獲得し、形状もさまざまに変化し、進化を遂げてきました。しかしこれらには一つの共通点がありました。それは金属材料を鍛造、機械加工、熱処理、表面処理を施して造られた作業工具であるということ。



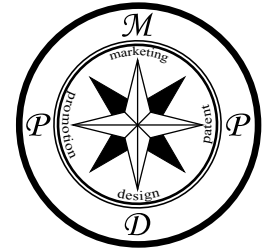
ところがネジザウルスリキッドは金属ではなく、その名のとおり液体です。生物の進化には品種改良などの小進化と、恐竜から鳥類が誕生したような大進化があるようですが、ネジザウルスリキッドはこの意味で、まさにネジザウルスワールドのなかでの大進化といえるかもしれません。ネジザウルスの名前を冠したこのリキッドの正体は……^{さび}錆と瞬時に反応し、^{じよ}分解することができる除^{せい}錆剤なのです。しかも中性（pH7）ですので、職場でも一般のご家庭でも安心・安全に使い、ネジザウルスシリーズのコンセプトにも合致します。

この突然変異ともいえるネジザウルスリキッド誕生のきっかけは、今から約2年前「ネジザウルスを購入されるお客さんは、潤滑スプレーなどのケミカル製品と一緒に買っていかれることが多い」という小売店の担当者のひと

言でした。営業マンからこの報告を聞き、これは面白いかも!!と直感^{つぶ}しました。というのも、ネジの頭が潰れる原因は、ドライバーの先端サイズの mismatch や、押し付け力の不足によるカムアウト（浮き上がり）、インパクトドライバーによる過度な締め付けなどがありますが、ケミカルも一緒に買われるということは、錆ネジのトラブルが意外と多いのではないかと考えられたからです。高温多湿の沖縄や融雪剤を頻繁に使用する雪国では特にその傾向が強いかもかもしれません。また、なんとかして潰れたネジを外したいというお客さまの切実な思いがこの購買行動から読み取れました。前号の出久根さんがネジトラブルのために3種類もの工具を買われたのと同じです。ネットショップを見ても、ネジザウルスとよく一緒に購入されている商品としてケミカル製品が掲示されていました。

あらゆるネジトラブルを解決するという世界初のブランドを構築していくうえで、関連・周辺商品に目を向けることがMPDPの出発点M：マーケティングになり得ると考え、ケミカルの開発をスタートしたのです。まずはネジザウルスとよく一緒に買われている市販品を入手し、それらの性能を比較検証することから始め、トライボロジーと呼ばれる摩擦分野の研究成果も調べるなど、さまざまな試行錯誤を繰り返しました。そして昨年末、ついにネジザウルスの強い味方として大進化を遂げたネジザウルスリキッドの誕生に至りました。





ウ：社長はん、連載60回目!? ちゅうことは丸5年ですやん! こんなに続けられて感激やわ〜。

高：全て読者の皆さまの支えがあってこそ。講演会などで「ダイアリー読んでよ!」とお声を掛けていただくことが何よりの励みになっています。 m()m

ウ：さて、今回のテーマはネジザウルスシリーズとして初めてのケミカルやし、そもそもの出発点がユーザーの潜在ニーズやのうて販売店さんからの情報ちゅうことでも異例づくめの新製品でんな。

銀：当初はもっとスムーズに商品化できると思ってたけど、2年近くかかった理由は何ですのん?

高：詳しく調査するとよく使われているケミカル製品だけでも何十種類もあり、それぞれ「潤滑」「浸透」「防錆」「除錆」などの機能をうたっている。これらのメカニズムのうち錆ネジを外すのに効果があるのは何なのか? それすら明確に分かっていなかったんだ。

ウ：ひと口に錆用のケミカルゆうても、錆を防ぐんか、落とすんか、どっちにも効果あるんか、あまりに商品が多過ぎてお客さまも分かりにくいと思うわ。

高：トライボロジー学会の研究発表を聞きにいったり、何人かの専門家にも相談したりしたが、錆ネジに有効なケミカルという分野の研究は全くされていないようだった。おそらくニッチ過ぎるんだろうね。

銀：そこで社内で錆ネジを数千個作って、それに各種ケミカルを塗布し、緩める力(トルク)がどれほど低下するか、塗布量や浸漬時間などパラメーターをいろいろ変えて、検証実験を繰り返したんですわ。

高：そしてテスト結果から、「防錆」と「潤滑」機能をうたっているケミカルは、錆ネジを外すにはほとんど効果がないことが分かったんだ。

ウ：既に錆びているネジに、防錆剤を塗布しても意味ないし、ガチガチに固着した箇所への潤滑も期待できまへんわな。後知恵みたくないけど、当たり前の話やな。

銀：次に「除錆」と「浸透」機能に焦点を当てて検証実験を行った結果、ネジザウルスリキッドの原型となるケミカルがついに見つかりましたな!

高：錆を瞬時に分解でき、しかも座面やネジ嵌合部のわずかな隙間にも浸透して固着の原因となっている錆を除去できるという理想的なケミカルなんだ。

ウ：これだけ即効性があるんやったら、「まぜるな危険!」みたいな怖い成分が入るとんちゃうかと思われるかもしれまへんが、これがなんと中性でんねん。(^^)

銀：白髪染めにも使われてるくらいやから人体にも安全。微かにパーマ屋さんの匂いがしまんな、社長はん?

高：わ、私はそっちは、全く縁がないんで……よく分からないよ。(^-^)

ウ：銀ちゃん、社長はんにはそれはアカンで! (-_-メ)

銀：スンマヘン! ところで理想的なケミカルをどうやってP:プロモーションすることにしましたん?

高：まずはネーミング。ネジザウルスをご存じのお客さまが商品名を見て「あれ??」「ひょっとしたら?」と思っていただければ、つかみはOKだね。

ウ：ネジオイルやサビザウルスとかの意見もあったけど、社長はんのネジザウルスリキッドで決まり!

銀：錆ネジをドライバーで回すと溝が潰れ(舐め)やすい、かとうていきなりネジザウルスを使うとパワーがあり過ぎて首が飛んでしまうかもしれん。そこでまずネジザウルスリキッドで錆を分解し、その後でネジザウルスで回す……これが必勝のローテーション!

ウ：この一連の流れを説明したプロモーション動画(実写)がメッチャ分かりやすいゆうて好評でんねん。店頭やネットショップでも大活躍してますわ。

高：マーケティングにおいては「関連商品&周辺情報に目を向ける」というMPDP3.0に進化。「あらゆるネジトラブルを解決する」というグローバル・ブランド構築に向けて今後も頑張りますので、ご期待ください!